

住みよい安全な まちづくりをめざして

第31回防犯と交通安全の住民集会

2月16日、町防犯協会と町交通安全協会の主催による「第31回南富良野町防犯と交通安全の住民集会」がみなくで開催されました。

この集会は、昭和52年から犯罪や事件、交通事故のない明るい地域をつくるため、自主的な住民運動の一環として毎年開催され、今年で31回目を迎えました。

集会では、町内小中学校の児童生徒から募集した防犯と交通安全の優秀作品に選ばれ

た児童生徒に対する表彰と、2人の児童による作文の発表が行われました。

最後に大会宣言が提言され、町民一丸となって更なる運動に取り組んでいくことが確認されました。

なお、町内小中学生からの応募作品は、防犯の部に標語31点、ポスター8点、作文7点、また交通安全の部に標語64点、ポスター15点、作文23点、合わせて148点の作品が寄せられました。



「飲んだら乗るな」と題した作文を発表する吉田くん



「罪の意識」と題した作文を発表する小林くん



会場には入選作品が展示されました

審査の結果、各部門の優秀賞に輝いた皆さんは次のとおりです。

□防犯作品受賞者

標語 藤井 結く北落合小5年

伊藤 芹佳き南富中3年

ポスター 笠原 颯さ落合小6年

福井 杏菜な南富中1年

作文 小林健太朗ら幾寅小6年

□交通安全作品受賞者

標語 大野 尊た金山小3年

小泉俊一朗ら南富中2年

ポスター 早崎 要た落合小4年

作文 吉田 健人ら下金山小4年

引き続き、作家や「よい子に読み聞かせ隊」の隊長として活躍中の志茂田景樹さんを講師として招いて、特別講演が行われました。

話の途中には、今の服装となった20年前、周から白い目で見られたエピソードも交え、会場の笑いを誘っていました。

『今こそゆくりさわやかに人生を』と題した講演では、カラフルな服装で登場した志茂田さんの軽快なトークに会場内には笑いもおき、楽しい講演となりました。

仕事で百歳以上の方を50人以上取材したときの話では、長寿の方に共通していることは、声を出して笑うことであったり、とても好奇心が強く感受性が豊かであることも紹介。講演の終盤には、読み聞かせも披露するなど、内容盛りだくさんの講演でした。

講演で志茂田さんは「60歳を超えた人は60を差し引いて新0歳という考え方で生活してください。10歳の孫にも学ぶことがあります。『と話をされました。更に「自分史を書く」「どんなことでもいいので家族に提案をしてみる」「どんな知らないところを訪れる」「座右の銘を考える」

最後に「さわやかに元気に感受性豊かに生きてください。」と来場された皆さんにメッセージがおくられました。

など自分の体験談を交えながら人生のアドバイスをしてくれました。

住民集會が行われた会場では、幾寅婦人会の主催によるフリーマーケットも行われ、来場した皆さんで賑わっていました。



志茂田景樹さん